

富士市立高等学校 学校運営協議会		第7回	会議要旨 (平成27年度)
開催日 平成27年6月26日 金曜日 開会 18時30分 閉会 20時30分	会議場 富士市立高等学校 2階 会議室		
出席委員 上柳 正仁 塩田 真吾 柴田 怜奈 杉山 荘一 中川 加代子 畑 隆 松浦 匠 野村 浩美 吉村 孝夫 渡邊 利夫 齋藤 照安 片田 等 石村 俊樹 植野 秀樹			
開会			
委嘱状及び辞令書交付			
委員自己紹介及び事務局紹介			
会長・副会長選出 ・畑委員が会長に選出される。 ・畑会長により齋藤委員が副会長に指名される。			
会長・副会長あいさつ ○ 畑会長 ・高校と大学と教育の場は違うが、学生の指導に日々努力を重ねてきている。その経験を踏まえながら、この会の運営を務めさせていただきたい。 ・皆様のご協力をいただきながら議事を進めていきたい。 ○ 齋藤副会長 ・副会長ということに大変責任を感じている。 ・会長をサポートし、この運営協議会がスムーズに進行できるように努力していく。			
議事の概要			
○学校運営協議会アンケート結果について 事務局より説明 ・「今後、市立高校が力を入れて取り組むべきだと思ふことについて」という問いに対し、ほとんどの委員が、探究学習、キャリア教育、広報活動の3つを答えている。 ・「学校運営協議会の意見が学校運営に反映されているか」という問いについても、ほとんどの委員が反映されていると答えている。 ・アンケートには具体的にどのように考えているかを書く欄がなかったので、この場で意見をいただきたい。			

<p>(質問・意見等)</p>	<p>○アンケート結果について意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究学習、キャリア学習ともに取り組むべきだと思っている。 ・特にキャリア教育ということに関して、市立高校とのインターンシップ学習を、商工会議所の青年部を通して行わせていただいている。 ・キャリア教育に関して、市立高校の取組が目立っていると思っている。 ・キャリア教育や探究学習を前面に出していくことが、学校を目立たせ、結果的に生徒を呼び込めると考える。 ・この点についてこだわって情報発信と取組を続けていただくことが、さらに学校のイメージを強く作っていただけると思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウの部活動に注目して丸をつけた。市立高校として特色のある取組の中に、部活動も入ってきていると感じている。 ・我々同窓生が卒業した後、同窓生同士で一体感が生まれる場面が、新聞のようなメディアによって、市立高校の生徒の活躍が話題になったときに卒業生としての一体感が生まれるような感じがする。 ・スポーツを通して自分を高めたいという子どもたちに対する、市立高校の指導のあり方、スポーツ探究科の生徒への指導のあり方が、どういう形でなされていくのか、学校側の方針などを情報発信すれば、市立高校の特色が出てくる。 ・部活動について学校の方針を教えていただければ、自分自身も後輩やいろいろなところで、情報発信ができると思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探究、キャリア教育、プラス部活動だと思っている。 ・義務教育では、総合的な学習、キャリア教育を通して、子どもたちを一層伸ばしてほしいということで、高校に入れている。ぜひ、このまま、探究、キャリア教育を充実させていただきたい。 ・スポーツ探究科は、学校側として、どういう資質とか力量を求めているのか見えてこない。子どもたちは、トレーナーになりたいとか、指導者になりたいと思っているが、どういう力があれば入学できるのか。そして、その力を持った子どもたちがどういう指導をしていただいて、どう実現していくのかという道筋が見えてこない。 ・総合探究とビジネス探究の子どもたちが、1年、2年、3年のときに夢がどう変わっていった、その子がどういう進路に進んだかという結果を教えてもらえると、子どもたちに勧めることができる。 ・部活動の動きもわからない。高校の部活動のあり方というのは、どういう方法でやっているのか。

<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会に進むような子どもたちをより一層伸ばしていくために、高校としてはどんな努力をしているのか。 ・若い方は、与えられた仕事だとか、言った事は確実にやってくれるが、自分から進んで何かをやろうとか、仕事を見つけてやろうということができないように思う。やはり体験、経験不足なのかと思う。 ・探究学習で、自分で外に出て調べることで本物に出会えたり、自分が気づいたり、人と関わったりすることも勉強になると思う。 ・私たちがほしいのは社会に出て、自分から進んで何かをやる人だと思ふ。 ・自分で体験、経験することがものすごく必要。 ・昔は地域でできたことかもしれないが、それができにくくなっている世の中だから、探究学習をもっと掘り下げてやってほしい。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習に回答させてもらった。今までやっていることを一生懸命やってほしいということと、少し差別化を図っていかなくてはいけないと感じている。 ・静岡大学の学部が再編されるという話を持ってきた。 ・おそらく各学校がこれから探究学習のようなものを真似し始めるのでないか。フロントランナーとして頑張ってきた市立高校がさらに探究学習をより良くしていかなければいけない。他の学校との差別化をうまく図っていくことが、これからの課題だと思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動ということでショッキングな話がある。ある方に市立高校の宣伝をしたら「市立高校は難しいことを言っているようだ。だったら伝統のある学校にやりたい。」という言葉が返ってきた。 ・「修学旅行の費用が高い。」ということも言われた。 ・保護者や地域の方がどこまでわかっているのかが問題。中学校が勧めたとしても、最終的に決定するのは保護者。だから、保護者や地域にどれだけアピールしたかということと、子どもたちがどれだけ魅力を感じたかが問題。 ・子どもたちは、まずポスターなどの第一印象で行く。その次は、その学校の先生方の対応。やはり子どもにどう迫っていくか、ということと、その後ろについているお金を出す親がどう理解してくれるか、ということが非常に大切。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私は探究学習、キャリア教育、広報活動に丸をつけた。

<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私も委員になって初めて、キャリア教育や探究学習という言葉を知った。 ・高校生の子どもを持っている親や、中学生の子どもを持っている親ですら、何科があるか知らない。私の周りでは、10人いた中で、何科があるか知っているのは2人で、内容まで知っているのは、子どもと一緒に見学に行った1人だけ。 ・キャリア教育や探究学習がこういうものだと言っていると、「学校卒業してからのほうが人生長いよね。そういうことをやってくれると、安心だよ。」と言うけど、「そういうことをやっているって知らないからね。」という答えが返ってくる。知っていれば、選択肢の中に入れたかもしれないので、やはり広報活動が必要だと思う。 ・実績がせっかく出ているのに、それがしばらくの間、ビジネス探究の募集状況にはうまく表れていないと感じていた。 ・今年はいい結果が出たが、まだまだ不十分ではないかということも感じている。 ・キャリア教育の点も出されたが、取組を評価する意見も出していただいた。第一線の人を呼んで、高校生に経験を聞かせる。こういうことをずっと続けているので、とてもいいことだと思う。
<p>○最近の学校の様子について</p> <p>学校より説明</p> <p>◇卒業生の進路決定状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学状況については、四年制大学が約40%、短期大学が約10%、専門学校進学者が約30%、就職が約20%という形で、1期生と変わらない。 ・スポーツ探究科の生徒は、体について勉強し、興味を持っているので体育学部に進学して、体についての知識を深めるという生徒がいる。 ・野球、サッカーの生徒を中心に、大学に行って、その競技を続ける生徒も数多くいる。 ・資格が取れる専門学校の中では、看護学校の人気があり、女子生徒を中心に、看護系に進んでおり、その中にスポーツ探究科の生徒も含まれている。 ・就職者は40人程度だが、求人は150人程度いただいた。この中で、スポーツ探究科の生徒は、インストラクターといったスポーツ関係のところで働く生徒もいる。県警や自衛隊に入った生徒もスポーツ探究科の生徒。 ・もともと求人が1人だった所が、見学に行ったところ、非常に評価されて、急遽見学に行った生徒2人とも採っていただくような結果も出すことができた。 <p>◇学校生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月の中旬に南稜祭があり、主体的に生徒が動いて大成功を収めた。 	

- ・インターハイも県大会等が終わり、大きな問題もなく、非常に落ち着いて生活していると思う。授業も部活動も前向きに取り組んでいる。

◇生徒の様子について

- ・カウンセラーが週に2回来てくれるので、生徒の対応は迅速にできていると思う。
- ・昨年度の生徒の利用者数は、学年別では1年生が1番多く、男女別では女子のほうが多かった。延べ人数が63名となっているが、繰り返し利用する生徒もいるので、実人数は30名となっている。
- ・今年度も、学校に慣れるまで、1年生で不安定になる生徒がいたので、心の問診表や業者テストなどを行って、不安を抱えている生徒や困っている生徒を見つけ出すような、予防を考えている。
- ・支援の内容は、大きく分けて3つ。1つ目はクラスや部活動など、人間関係や学校生活、家族に関する悩みを持った生徒、2つ目は特別支援的な生徒への対応。3つ目は病理性のあるような生徒への対応で、カウンセラーに専門機関と連携がとれるように相談にのってもらっている。
- ・家庭との連携がうまくいくと生徒の対応や支援がスムーズになると感じている。
- ・自尊心を高めることが大事だということで、気をつけながら対応している。

◇部活動の大会結果について

- ・地区大会を経て県大会に出場した部活動が、昨年度と同じく10競技あった。
- ・新体操部が優勝し、全国大会出場を決めた。また、陸上部と柔道部が東海大会に駒を進めた。ゴルフ部も静岡・山梨合同の大会で上位に入り、関東大会出場を決めている。
- ・東海大会では、陸上部が女子の200メートルで4位、女子の円盤投げで優勝し、全国大会行きを決めている。チアリーダー部がソングリーダー部門で2位に入り、こちらも全国大会を決めた。水泳部は、明日からの県大会、7月の東海大会を控えており、昨年女子の自由形50メートル、100メートルで全国大会へ行った選手が好調なので、全国大会出場の可能性が高いと思う。
- ・文化部では、昨年吹奏楽部が東海大会に出場したが、今年もかなり頑張っている所以、期待が持てると思う。
- ・本校での部活動のあり方は、勉強との両輪と考えている。したがって、施設面や、指導者面など、かなり部活動には力を入れている。ただ、勉強もさせなくてはいけないので、土曜日のサテライト補講などもあるが、そこに出られない生徒については、かなり便宜を図っている。部活動との兼ね合いのなかで、勉強と衝突するような場合には、事情をある程度考慮して、部活動の便宜をどの部活動においても図っている。基本的には、部活動だけ頑張っている学校にはしたくないと考えている。

◇最近の学校教育の動向について

- ・高大接続システム改革会議で、新しい入試の形態であるとか、具体的な内容など

が検討されたので、資料を付けさせていただいた。

- ・センター試験という今ある入試が、まったく違う内容の入試に変わっていく。探究学習で付けたいといっているような力を、どう計っていくのか問題の検討が始まっている状況。
- ・センター試験のようなものはやめて、高校の基礎的な力を計るテストを高校在学中にやる。どうも英・数・国の3科目でやるという方向になりそうだと、ということがこの資料に書かれている。このテストと検定試験、英語検定といったものを高校時代の学習の記録として見ていこうという方向が固まってきている。
- ・全国的にみると市立高校の取組は注目していただいている。事前情報がないと市立高校の取組に魅力があるが、変わったという前の情報があって、新しい情報がなかなか見えてこないというところが、この地域での位置づけを高めていくのに非常に難しいところと感じている。
- ・広報のことなど耳の痛い話をたくさん聞かせていただいたが、具体的にどんな動きをしたらいいのかということが、手詰まりなところがあるので、ぜひ具体的なアイデアがあったら、教えていただき、取り入れていきたいと考えている。

○平成27年度学校経営計画の説明

- ・目指す学校像として、CDIを中心にやっていく。最終的には「自律する若者」の育成を教育目標としている。
- ・目標具現化の柱としては、未見の我を探すということをもとにさせる。自分のいいところを探そう、そういう学習のシステムを作っていくということで取り組んでいる。
- ・生徒から意見が出てきたので「挨拶の励行」を追加させていただいた。
- ・命の尊さについては、なおちゃん募金という活動に出てきたと思っている。
- ・学校行事や部活の充実も図っていく。スポーツ探究科のスタートは、アスリートのみではない、と聞いている。スポーツを通して考え、地域のスポーツのリーダーとなっていく、ということをもとにしている。どうしてもアスリートでやっていくという生徒については、それはそれで伸ばしていこう、ということだと思ふ。方向性としては、やはり勉強をさせないと。勉強しなくてはいけないという意識を持っていかないと、伸びないのではないかと。もし、まったく練習する時間がないということであれば、また考えていきたいと思ふ。学校としては、練習時間は十分与える方向で、柔軟に対応していくのが現状。
- ・家庭・PTA組織・地域との連携では、地域交流課がいろんな企画をしてくれている。「ナイトウォーク」や「市立映画館」といったことをやってみようと、いろいろ工夫してくれている。
- ・学科の特色を活かした教育、これが大きな問題。これは各学科長が中心になって、話し合いを持つということで、今行っている。大学が全てではないが、生徒は目

覚めると一気にいく。その目覚めたときに先生方が引っ張っていく。就職したいということであれば、それに耐えられる学力を持たせてやりたい。会社へ行って、高校卒業でも勝てる力を持たせて出してやりたい。

- ・本年度の取組については、生活及び学習リズムの確立というところの成果目標は、昨年度より欠席・遅刻・早退は減らすこと。
- ・授業力向上と教科間の連携・充実では、授業時間の確保。授業の内容がわかる生徒の割合は、70%を目標にしている。
- ・安全教育の推進も、自転車事故が多いので、この件数を昨年度より減らす。
- ・海外探究研修の充実だが、これは保護者・生徒の満足度をもっと上げていこうということで、とりあえず90%にしている。海外探究研修の旅費が高いという話を聞いたが、40校弱のデータから見ると、本校は特別なことをしているということはない。内容的には本校はコーディネーターを特別にお願いしているので、旅行社ができない内容をやっている。
- ・いじめの関係は、体罰・いじめは、なしということでもっていこうと考えている。

<p>(質問・意見等)</p>	<p>○報告について意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上の子は修学旅行で北海道に行ったが、これは研修旅行ではなくて、あきらかに北海道観光。下の子が海外研修に行って、現地の子どもや企業の見学に行き、内容が全然違って、とてもいいことをしているのがわかる。 ・ただ、親の立場からしてみると、旅行の金額しか見ない。内容は、実際に子どもが行って初めてわかることなので、そのPRがまだまだ弱くて浸透してない。 ・News Letterもそうだが、ポスターを実際に並べて、まず目に付くのは絵やイラストである。どこから見るかといえば、まずインパクトで見て、そこから内容は何だろうと中を見ていく。市立高校のは、最初から文字がポンポンポンときているので、なかなか読もうと思わない。いいことが書いてあることはわかるが、その辺をもっと考えてPRをすると良い。
<p>(質問・意見等)</p>	<p>→情報モラルというかスマホの扱いといったトラブルはどういった状況か。</p>
<p>(回答)</p>	<p>→普段からも携帯電話のトラブルがちょこちょこある。自分が伝えたいことと、文字で書いたことで温度差があり、伝える方と貰った方とで、ギクシャクしてしまう。トラブルは多い。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<p>→やりすぎについてはどうか。コミュニケーション系のトラブルと、やりすぎによって、依存傾向で生活リズムが崩れてしまうという話をよく聞くが。</p>

<p>(回答) (質問・意見等)</p>	<p>→依存している子はいる。 →その辺が心配かなという感じがする。</p>
<p>(回答) (質問・意見等)</p>	<p>→午後10時には携帯は止めようということで、生徒課からも注意してもらっている。なかなかスパッと全員午後10時で止めよう、というようにはいかないのが現状。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<p>→経営計画に入れる必要はないかもしれないが、指導としては注意すべきことだと思う。次年度以降の計画の中に情報モラル等の記述があってもいいと思う。ICTの活用も情報モラルも含めて何かやっていくことが必要だと思うので検討いただきたい。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育では県のPTAが、小学校は午後9時、中学校は午後10時で携帯を使うのはよしましよと指導している。 ・LINEが非常に大変。トラブルが一番多い。本校も非常に困っているのが、携帯電話のトラブルで、そこらじゅうで発生している。 ・昼夜逆転し始めている生徒もいる。遅くまで使うことによって結局寝られない。それが朝に影響して、学校の勉強にも影響する。 ・おそらく、非常に多くの子どもたちが、もしかしたら裏で携帯におけるいろいろな不調を言っているのではないかと推測できる。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を採用する側だが、就職する40名は宝だと思う。高校を卒業して18歳でビジネスの環境に入れるというのは、すごくいいことだと思う。 ・就職した後、何年後かのところで、OBが活躍している姿をクローズアップしてもらえないか。入社してから4年目、5年目くらいで、もし調べられるのであれば、OBの方々がどういう役職でどんなことしているのか、ということ調べていただくと、きっと活躍しているというものがあるのではないかと推測できる。それを学校の紹介の中に入れてもらえたらありがたい。
<p>(追認)</p>	<p>→平成27年度教育方針追認</p>
<p>次回日程について</p>	
<p>閉会</p>	